

ひびき

教育目標「なかよく かしこく たくましく」
—一人一人を大切にする「風通し」のよい学校—
多治見市立共栄小学校R5. 8. 28

今年は「本当」の夏休みとなりました！

—夏休みの思い出を胸に生活リズムに慣れることをまず目指します—

この写真は7月に行われた「天王様・20区夏まつり」の様子です。20区の子どもたちだけでなく、多くの共栄小の子どもたちが、さまざまなイベントや大ビンゴ大会に参加して、大いに盛り上がりを見せていました。



このように今年の夏休みは、新型コロナウイルスにかかわる制限が大きく緩和されたこと

で、各地で夏まつりが復活しました。子どもたちが担任の先生方に出した暑中見舞いや残暑見舞いを見ると、花火大会や家族旅行、帰省など、楽しい体験をした子どもたちの姿がありました。また、少年団やクラブの活動を一生懸命がんばった子どもたちの姿がありました。まさに、今年は「本当」の夏休みが戻ってきたといえます。

さらに、交通事故や水の事故などの報告もありませんでした。猛暑日が続く中で、子どもたちの体調管理にも気を使われたことと思います。ご家庭での子どもたちの見守りやご支援のおかげで、夏休み明けの教育活動を無事に再開できることに感謝申し上げます。

一方で、長い休み明け直後は、子どもたちにとって大きく生活環境が変わるため、プレッシャーや精神的な動揺が生じやすいときです。「学校に行くのが心配だな」「仲間とうまくやっていけるかな」という気持ちになる子も多いです。共栄小としては、まずは28日からの1週間は、スロースタートで「生活のリズム」を取り戻すことに主眼をおいていきます。その中で、学校の時間感覚を取り戻させていきたいと考えています。しかし、8月中は、4時間授業が続くとはいえ、週の終わりごろには疲れもたまってくることと思います。ご家庭での支えや声かけが必要となるところもあるかと思えます。

夏休み明けも、これまで以上に、家庭・地域・学校がよきパートナーとして子どもたちの成長を促していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。